

町の百歳以上高齢者は 18 人に (2月10日現在)

新たに百歳を迎えた 2 人へ長寿を祝い賀寿贈呈

1月13日に西形千枝子さん(芝草)が満100歳の誕生日を迎え、翌14日に自宅で賀寿贈呈式を行いました。式では、薄町長や荒海清隆町老人クラブ連合会長が賀寿や記念品などを贈り百寿を祝いました。西形さんは賀寿を受け取るたびに、「家族や皆さんの協力のおかげで100歳になりました」と感謝の言葉を述べていました。

西形さんの長生きの秘訣は「3食しっかり食べること」だそうです。毎週のデイサービスで誰かと話すことがとても楽しみだと話していました。



▲ 満 100 歳を迎えた西形千枝子さん



▲ 満 100 歳を迎えた谷澤ヤチヨさん

また、2月9日には、谷澤ヤチヨさん(9町内1)が満100歳となり、同日にロータスインで賀寿贈呈式を開催しました。式では、薄町長や町老人クラブ連合会の二瓶稜副会長から賀寿や記念品、親族の皆さんから花束を贈呈して祝福しました。

谷澤さんの長寿の秘訣は「食事をよく噛んでしっかり食べること」。長男の谷澤文夫さんによると、普段から孫たちとテレビ電話で話したり、ニュース番組の字幕を読み上げたりと百歳とは思えないしっかりした生活を送っているそうです。



地域の文化財を火災から守り、後世へ引き継ぐ 文化財防火デー合同消防訓練

1月29日、下野尻・根柢^{ねさく}神社で文化財防火デー合同消防訓練が実施され、町消防団や西会津消防署、地域住民など約70人が参加しました。この訓練は、1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、先人が遺した貴重な財産を火災から守るとともに迅速かつ的確な消防技術の習得を目的として、毎年実施されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となった今回は、同神社付近の建物から出火したとの想定の下、住民による通報訓練や神社内の文化財搬出訓練(上写真)、消防支援隊や消防団による初期消火訓練と放水訓練(下写真)などが行われ、火災時の連携について確認をしました。